

削減計画実施状況報告書（内容）

事業所名	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
事業所の所在地	千葉県柏市柏の葉6-5-1
事業所の主たる業種及び事業概要	病院
報告期間	令和4年度分
温室効果ガス排出量報告	<p>◎基準年度 <u>12,216</u> t-CO₂（令和3年度）</p> <p>◎当該年度 <u>12,219</u> t-CO₂（内訳は別紙1）</p> <p>◎対基準年度削減量 <u>3</u> t-CO₂増加</p> <p>◎対基準年度削減率 <u>0.02</u> %増加</p> <p>◎目標年度 <u>12,198</u> t-CO₂（令和6年度）</p>
温室効果ガス削減実施内容 （増加している場合は、その理由と今後の対策も記入する）	<p>・増加理由</p> <p>商用電力料金高騰により、商用電力に比べ、常用発電機（ガス燃料）での発電にかかるガス料金の方が安価となる為、令和4年10月以降、平日日中に常用発電機を運転する運用とした。その結果、基準年度より商用電力量は削減され、ガス消費量は増加した。CO₂排出量係数では、商用電力より、発電にかかるガスの方が高くなる。仮に常用発電機の運用を例年通り（10月以降の常用発電機の運転は月次点検のみ）として試算した場合、それぞれ年間の使用量は、他人から供給された電気の使用量 19,594,738kWh、都市ガス（京葉ガス）中圧の使用量 1,399,460 m³で、CO₂排出量は約 12,209t になり、基準年度より 7t の削減になる。常用発電機の運用変更及び、商用電力と発電にかかるガスの CO₂ 排出係数の差の為、基準年度より CO₂ 排出量の増加に繋がった。</p> <p>・今後の対策</p> <p>① 陽子線棟の空冷チラー（冷温水熱源）を高効率モジュールチラーに更新する。</p> <p>② 陽子線棟1Fのパッケージエアコンを高効率タイプに更新する。</p>